



赤ちゃんハイハイ競争

十一月四日(日)上郡町保健センターで上郡町健康福祉まつりが開催されました。これは、町民

上郡町健康福祉まつり開催

の健康づくりと啓発のために毎年この時期に行なわれているものです。人気の赤ちゃんハイハイ競争では、家族や観客の声援の中、赤ちゃんたちが懸命にゴールを目指していました。その他にも大声コンテスト、お口の相談コーナー、栄養コーナーなどがあり、家族連れでにぎわいました。また、屋外で行われた体力測定では筋力、瞬発力、柔軟性などの項目ごとに測定をし、体力年齢のチェックを行いました。



白旗こどもたると太鼓

ステージでは、円心太鼓や白旗たる太鼓、ヨサコイソーラン踊り、地区民謡謡シヨールなどが



模擬店も大にぎわい

行われ、観客の皆さんから盛大な拍手が贈られていました。

第十回白旗城まつり開催

十一月二十三日(金)赤松公民館周辺で第十回白旗城まつりが行われました。当日は朝からおだやかに晴れわたり、絶好の行楽日和になりました。毎年人気を集める白旗城跡へ

の登山や、赤松氏ゆかりの史跡めぐりには今年も大勢の方々の参加がありました。また、会場では、各自自治会から出店した模擬店や青空市場の野菜が人気を集めていました。

社会教育の発展に貢献

神明寺の矢田昌文さん 文部科学大臣表彰を受賞

この度、全国公民館連合会創立五十周年記念、文部科学大臣表彰を神明寺の矢田昌文さんが受賞されました。

矢田さんは、昭和三十八年から昭和五十九年まで上郡町教育委員会に勤務され、その間社会教育行政一筋に勤めてこられました。

また、昭和五十四年に中央公民館が設立されるとその初代館長に就任されました。館長時代は各種団体の自主的な学習活動の育成に努め、人権学習や青少年健全育成の推進を図るなど、住民参加の街づくりのために多大な貢献をされました。今回の受賞は、これらの活動が評価されたものです。



矢田さんおめでとうございます

矢田さんは「教育委員会時代は、公民館、スポーツセンターなど、立ちあがったばかりの事が多く、苦勞の連続でした。でも、今となつては良い思い出です」と当時のお話を懐かしそうに語ってくださいました。

地域と共に歩んだ五十年

高田幼稚園五十周年記念式典

十一月二十四日(土)高田幼稚園で、創立五十周年の記念式典が開催されました。

高田幼稚園は、昭和二十六年六月に当時の高田村立高田幼稚園として開園され、高田小学校に併設されました。以来、数回の移転を経て、昭和五十三年に現在地に移り、今年で五十年目を迎えました。

式典では式辞、祝辞に引き続き、新たに決定した園章の除幕式が行われました。園章は、「稲穂に囲まれた高田幼稚園と太陽のように明るく未来へ向かつてはばたく子供たち」への願いを込めてPTAの皆さんが協力してデザインされたものです。



新しい園章の前で歌う園児たち

また、アトラクションでは、新しい園章の前で、園児の歌と合奏や、同園の卒園生でもあるピアノ奏者の兼松素子さん、声楽家の江唐澄江さんによる演奏会が行われました。

すてきなお話に『夢見心地』

永田萌さん講演会

十一月十八日(日)中央公民館で、淡路花博「ユメハッチ」でお馴染みの永田萌さんをお招きし、講演会が開催されました。

イラストレーターとして超多忙の永田さんですが、京都の紅葉とは一味違つ、上郡の秋の自然・木々の柔らかな色彩に感動



にこやかに話される永田さん

された様子でした。講演では、カラーインクという特殊な技法で描くため「天候に大きく左右される」「素直に描けた時は、筆数がいらぬ」等の専門的なお話や、「自然に囲まれた子ども時代の体験があ

るから今の『永田萌』があり、美しい自然と、大きな人の愛によって夢をみ、描くことができました。」というお話などをされました。

美しい絵に参加者はみんな「夢見心地!」でした。例年になく幅広い年齢層の参加者のもと、落ち着いた雰囲気でも素敵な講演会が開催されました。

「もてなしの心」を伝えたい

青年海外協力隊・高橋さんが来庁

十一月二十九日(木)青年海外協力隊員として北アフリカのモロッコに派遣される高橋美展さん(大持)が町長室へ出発の報告に訪れました。青年海外協力隊は、日本の青年が開発途上国においてボランティアでそれぞれ

高橋さんは、「早く現地に慣れ、私自身が楽しむことが大事だと思う。派遣先では「ホスピタリティ精神」(もてなしの心)を伝えられたら」と二年間の派遣に対する抱負を語ってくれました。

国保無疾病表彰

この度、山野里の野邑朝夫さん、野桑の古林宏章さん、金出地の池本登さんに、町の国民健康保険から平成二十二年の五年間無疾病表彰状が贈られました。これは、国民健康保険の加入者である世帯全員が病院にかかっておらず(無疾病)、一定の条件を満たした場合に、五年・十年などの節目の世帯に表彰状を、その他の世帯には記念品を贈呈しているものです。

平成二十二年の対象世帯は九十七世帯あり、その内五年連続で該当する三世帯の世帯主の方に表彰状が贈られたものです。



海外でもがんばってください

高橋さんは、以前に尼崎市内のシティホテルに勤務していた経験があり、今回はそれを生かして、モロッコ観光省所轄のホテル観光経営学院で、ホテル等各種サービスの技術指導に当たるそうです。

おわびと訂正
先月号のまちの話題の中で「わが家の味じまんコンクール」の優秀賞を受けられた香山富子さんのご住所が「大枝新」とありますのは、「大持」の誤りでした。心からおわび申し上げます。訂正いたします。